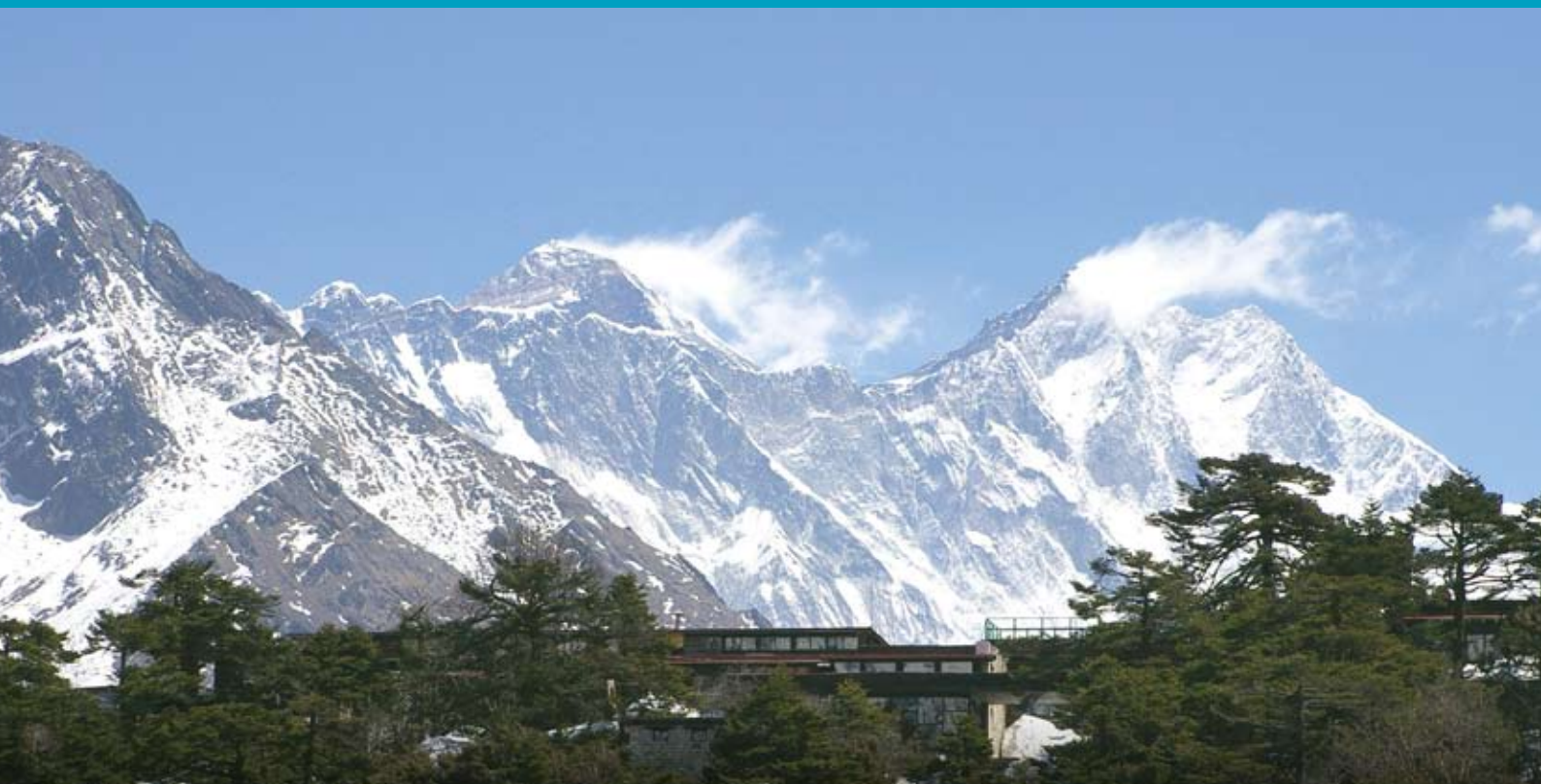


海外登山隊 #
クロニクル 4 ザ・ヒマラヤ・デー参加者
募集THE
HIMALAYA
DAY

日時：2010年12月5日(日) 13:30～

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

(兼・第24回海外登山女性懇談会)



2010年は日本の山岳界にとって、いくつかの節目にあたります。日本山岳協会が創立されて50年、日本人が世界最高峰エベレスト登頂を成功させてから40年。これらの年にちなみ、「海外登山隊クロニクル」第4弾としてヒマラヤを特集します。

今でこそ、比較的たやすくヒマラヤの峰に立つことができるようになりました。そこに至るには、戦後間もない1950年代に初めてヒマラヤへのトレイルを付けた、京大士山岳会の先駆的なヒマラヤ遠征が端緒として挙げられます。まだ1ドルが360円だった時代のことです。

その後、多くの先達たちが困難を乗り越えて、ヒマラヤのいくつかの登頂を成功させています。その先達たちに年代順にヒマラヤへの道のりを熱く語ってまいります。数々のエピソードに彩られた迫力のストーリーを、遥かヒマラヤへの次のステップと道標にしてください。

プログラム

13:30 主催者あいさつ

講演 1. 平井 一正(1950年代 京大士山学会/カラコルム)

講演 2. 中世古直子(1974日本女性マナスル登山隊)

講演 3. 大宮 求(1980山学同志会/カンチェンジュンカ北壁)

講演 4. 重廣 恒夫(1995JAC/マカルー東稜)

講演 5. 田辺 治(2006 JAC東海支部/ローツェ冬季南壁)

〈休憩〉

15:25 講演 6. 池田 常道(山岳誌編集者による総括)

※16時30分終了予定(敬称略)

※上記プログラムは都合により急遽変更させていただく場合があります。

※入場時に資料代として500円を申し受けます。

◆ ザ・ヒマラヤ・デー出演予定者 (敬称略)



平井 一正 (ひらい・かずまさ)

1931年生まれ。京都大学工学部卒業。工学博士。神戸大学名誉教授。58年チョゴリザ(7,654m)京大隊隊員(初登頂者)。62年サルトロカンリ(7,742m)京大隊隊員。76年シェルピカンリ(7,380m)神戸大隊隊長。86年クーラカンリ(7,554m)神戸大隊総隊長。2003年ルオニイ峰(6,805m)神戸大隊隊長。すべて無事故、03年を除きすべて初登頂成功。京都大学学士山岳会員、日本山岳会員、神戸大学山岳会員。



中世古 直子 (なかせこ・なおこ)

20歳頃から山岳会に所属し経験を重ねる毎に氷河の山へ憧れた。ネパール解禁を待ち、1966-67年ニュージーランド遠征隊。70年JAC東海支部マカルー遠征隊、74年日本女性マナスル登山隊、南山大、JAC東海インドヒマラヤ、シルクロード探検、中国、ペルーアンデス等で齢に合った山やスキーを楽しんでいます。



大宮 求 (おおみや・もとむ)

1949年生まれ。練馬区在住。山学同同志会OB会会員、登山家。35年前よりヒマラヤ登山を始め。カンチェンジュンガ峰(8,598m)北壁初登攀、シジャパンマ峰(8,012m)登頂、チョモランマ峰(8,848m)遠征など数多くの7,000メートル峰への遠征の実績がある。今年の夏もラトックV峰(6,190m)に遠征をしている。



重廣 恒夫 (しげひろ・つねお)

1973年のエベレスト南西壁登攀を皮切りに、K2日本人初登頂、ラトックI峰初登頂、チョモランマ北壁初登攀、カンチェンジュンガ縦走、マツシャブルム北西壁初登攀をおこなった。また、日本・中国・ネパール三国友好登山隊チョモランマ交差縦走、ナムチャバルワ峰初登頂、マカルー峰東稜初登攀などを指揮した。



田辺 治 (たなべ・おさむ)

日本を代表するヒマラヤニスト。冬期エベレスト南西壁、マカルー東稜から北西稜などヒマラヤ高峰の初登攀計8回。2006年、3度目の挑戦の末に冬期ローツェ南壁の初登攀を手中にする。2009年、アルパインスタイルでネムジュンの西壁の初登攀に成功した。今年、26回目のヒマラヤ登山でダウラギリI峰に挑む。



池田 常道 (いけだ・つねみち)

フリージャーナリスト。元『岩と雪』編集長。雑誌編集を通して海外登山界との交流を深める。山と溪谷社時代は、日本山岳会編『高所登山研究』のほか、中村保『ヒマラヤの東』、ボナッティ『わが生涯の山々』、ステイール『エリック・シプトン』など編集を手がけた書籍多数。現在は雑誌『岳人』に「現代アルピニズムのプロファイル」を連載中。

お申し込み方法

ハガキ、ファックス、またはインターネットからお申し込みください。それぞれ①お名前(ふりがな)②郵便番号③住所④電話番号⑤年齢⑥職業⑦参加人数を明記のうえ、下記お申し込み先までお送りください。QRコードを利用して携帯電話からもお申し込みいただけます。

【お申し込み先】

《ハガキ》〒100-0003東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日企画サービス「ヒマラヤデー」係

《ファックス》03-3212-0405

《インターネット》<https://www.mainichi-ks.co.jp/form/mt1012/>

- ◎定員=300名 ◎参加費=500円
- ◎締め切り=11月19日(金)必着
- ※応募者多数の場合には抽選を行い、当選された方に参加証を送付します。



【お問い合わせ先】

毎日企画サービス「ヒマラヤデー」係
《電話》03-3212-2271

※お送りいただいた個人情報は本イベント「海外登山隊クロニクル」シリーズ開催以外の目的では使用しません。

会場案内



【最寄り駅】小田急線「参宮橋駅」徒歩約7分
地下鉄千代田線「代々木公園駅」徒歩約10分

◆ 海外登山隊クロニクル シリーズ年間スケジュール

イベントタイトル	日時・会場	内容・プログラム(敬称略)
THE EVEREST DAY	2010年4月24日(土) 終了しました	日本人が世界最高峰エベレストに初登頂して40年。当時の日本山岳会エベレスト登山隊のメンバーやその後のエベレストサミッターが、エベレストについて語る。
THE UEMURA DAY	2010年7月24日(土) 終了しました	冒険家植村直己について、当時親交のあった関係者が語り、また時代を担う冒険家たちが今後の冒険の可能性を探る。
THE EXPEDITION DAY	2010年9月11日(土) 終了しました	エクストリームな山にチャレンジし続ける日本人の若いクライマーやスキーヤーたちによるトークライブ。 (資料代として会費500円)
THE HIMALAYA DAY (兼・第24回海外登山女性懇談会)	2010年12月5日(日)	※表面でご参照ください。
ザ・ドキュメント・デー THE DOCUMENT DAY	2011年1月16日(日) (9:00~19:00) (毎日ホール/ 東京都千代田区一ツ橋1-1-1バンスサイドビルB1F)	◎山岳ドキュメンタリー映像の上映会 ①マナスルに立つ/ヒマラヤ8000m峰、最初の登山隊②白き氷河の果てに/世界第二の高峰に挑む、日本K2隊の記録③ナンダコト山登山隊の記録、その他上映フィルムの公募を行います。(資料代として会費500円)

※今後開催の内容は予定であり、事前のお断りなく変更させていただく場合があります。